

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人としての理念はあるが、全体的なものでありグループホームとしての事業所独自の理念ができていない。	法人の理念を基に、グループホームのサービスを原点とした、具体的でわかりやすい独自の理念を、グループホームの職員全員で作成する。	グループホームの全職員各々に理念を考えてもらう。そして全体のミーティングで発表してもらい、その中からグループホームローズガーデンの目指す理念として、共有できるものを選定して、他の部署の意見も考慮し決定する。	1ヶ月
2	33	今年の7月に当グループホームで初めての看取りを行ったが、今までに経験がなかったことからグループホーム内での看取りに関するマニュアルもない中での、対応になってしまった。	看取りを行うためには、医療的なケアだけでなく、本人・家族への精神的ケアが重要であり、グループホームで最期を迎える方に対して、その部分でどのように支えていくかを中心にマニュアルを作成したい。	今年経験した看取りに係わった職員を中心に、実際に亡くなられた日の1週間前後の具体的な様子、ターミナルケアを始めてからの全体的な流れ等を綿密に調査して、ターミナルケアにおいて必要な項目をマニュアル化する。	3ヶ月
3	6	現在、人権に関する研修会が行われていないため職員の知識にバラツキがある。	グループホームの全職員が人権に関する知識を身につけ、同等のレベルで認識を共有化できるようにする。	「高齢者虐待防止」「身体拘束の理解と防止」「成年後見人制度」等の人権擁護研修会への参加。内部研修会の開催。いずれも全職員が参加できるようにし、グループホームのミーティングの中でも検討することとする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。